

今日の道徳科の時間

理解し合うために
教材「みんな、おかしいよ！」

5年

この教材は

児童にとって等身大の人物が描かれた身近な内容で、3人のやり取りを通して、互いが真に理解し合うために大切なことは何かを考えさせることができる教材です。相互理解の困難さを乗り越えるためにどうすればよいかを、3人の登場人物の姿を通して、児童が自分のこととして考えていくことを大切にしていきます。

育てたい子どもの心



相手によって態度を変えたりせず、相手の立場に立って考えて伝えていきたい。



自分にとって都合が悪いことでも、相手の話をしっかり聞くことを大切にしたい。

子どもの心を育てるために

- 人物相関図を活用しながら、登場人物のそれぞれの気持ちや状況を可視化し、自分事として考えやすくします。
- 登場人物の言ったことやしたことに対して「どのような思いがあったのか」を考えることを通して、相互理解の難しさと乗り越え方に気付かせます。
- 「相手と理解し合うために大切なこと」についてグループ交流しながら多様な考え

学習の流れ

- ① 導入：「友達とうまく理解し合えない」とはどういうことかを考え、本時の学習テーマを知る。
- ② 教材文の把握：教材文を読み、登場人物の言い分を整理しながらそれぞれの気持ちを共感という視点から捉える。
- ③ 展開1：「本当のことを言ったら友達が減る」と言った和花の思いを考える。
- ④ 展開2：真紀に「言い方がちょっときついんだよ。」と言った絵里子の思いを考える。
- ⑤ 振り返り：「相手と理解し合うために大切なこと」についてグループで話し合い、全体で共有する。

